

生活科学系コンソーシアム第17回会議 議事録

日時： 平成27年12月20日（日） 11:00～12:30

場所： お茶の水女子大学 本館103室

出席者：（敬称略）

コンソーシアム構成学会より連絡担当者計9名

国際服飾学会	山村明子
日本衣服学会	阿部栄子
一般社団法人日本家政学会	杉山智美
日本家庭科教育学会	伊藤葉子
一般社団法人日本調理科学会	笠倉知子
一般社団法人日本繊維製品消費科学会	小柴朋子
生活経済学会	上村協子
一般社団法人日本保育学会	守随香
特定非営利活動法人日本栄養改善学会	武見ゆかり

日本学術会議 健康・生活科学委員会、家政学分科会委員

小川宣子、塚原典子、香西みどり、薩本弥生、渋川祥子、沖田富美子、多屋淑子、都築和代、工藤由貴子、藤原葉子、倉持清美、片山倫子

欠席者：構成学会

公益社団法人日本栄養・食糧学会、日本消費者教育学会、公益社団法人日本食品衛生学会、日本食生活学会、服飾文化学会、公益社団法人日本食品科学工学会

日本学術会議 健康・生活科学委員会、家政学分科会委員永富良一、本田由紀

資料

1. 構成学会の会長および連絡係りの氏名および連絡先一覧
2. 生活科学系コンソーシアム第16回議事録（案）
3. 第4回シンポジウム
4. 第7回生活科学系博士課程論文発表会
5. 入会申込書

議題

(1) 生活科学系コンソーシアム第16回会議議事録（案）の承認（資料1）（香西）

第16回会議の議事録案について説明があり一部の誤字が訂正された後、了承された。

(2) 第4回シンポジウムについて（香西・藤原）

12月20日13:30からお茶の水女子大学で開催されるシンポジウムについて説明があった。協力担当学会は日本家政学会、国際服飾学会であることが確認された。

(3) 第7回生活科学系博士課程論文発表会について (倉持)

平成28年3月24日に東京学芸大学で開催される博士課程論文発表会について説明があり、発表者の推薦に対する依頼があった。当日発表者に渡す賞状について提案があり、文言の修正等について意見交換があった。賞状はホルダーをつけて渡す予定である。担当学会は日本栄養改善学会と日本食品科学工学会であることが確認された。

(4) 第9回生活科学系コンソーシアム総会開催日程について (小川)

平成28年5月17日17:00から日本学術会議で開催される総会には各構成学会から会長と連絡係りの2名が出席してもらうこと、総会では各学会内での意見をいただくこと、連絡係りとして事務局ではなく会員が出席することなど説明があった。

(5) 入会について

生活科学系コンソーシアム入会を家政学に関連のある28学会に依頼し、2学会から申込があった。

- ① 一般社団法人日本健康心理学会 事務局が連絡担当者のため会員の理事に変更をお願いしている⇒了承されればコンソーシアムとして承認
- ② 日本健康医学会 ⇒ 承認された。

両学会には来年度から入会していただくこととし、構成学会の数は17になる。

(6) その他

- ① シンポジウムの講師謝礼、会費、予算などについて意見交換を行った。
 - ・シンポジウムにおいて講師謝礼、アルバイト謝金はこれまで支払っていない。今後、シンポジウムに講師謝礼、旅費を出すかどうか、各学会に持ち帰ってご検討いただく。
 - ・15団体の会費が31万円ほどあり、HP、シンポジウム、博士論文発表会にそれぞれ10万円ずつ使用するので、今後HPの負担分を少なくするなど工夫する。
 - ・会費について各学会の口数見直しや値上げの額、依頼の仕方など検討事項を考える。
- ② 平成28年度のシンポジウムの内容について意見交換を行った。
 - ・これまでの家庭科教育のあり方について検討し、今回は資格養成について扱っている。今後も家庭科の必要性を打ち出していく。生活者のための学問が生活の質の保証にも通じることとなり、家と仕事を割り振りながら生きていくことを人材育成の場でどのように伝えるか、など(次年度のシンポジウムのテーマに関するもの)について各学会で持ち帰り、検討する。

6. 報告

- ① HPのリニューアル費を11月16日に合計金額253800円で支払った。(塚原)
- ② 家政学分科会ではWGを作って家庭科教育の内容、教員免許取得に必要な科目、免許更新の点から検討を行っている。(小川)
- ③ 学位授与機構の調査(構成学会数や活動報告)に生活科学系コンソーシアムとして回答を提出。(小川)

以上